

第6学年 国語科学習計画（シラバス）

【第6学年 国語科の目標】

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができる。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、すすんで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとしている。

1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	<ol style="list-style-type: none"> ① 言葉の準備運動 ② 詩を楽しもう ③ 楽しく書こう ④ 視点や作品の構成に着目して読み、印象に残ったことを伝え合おう ⑤ 本は友達 ⑥ インタビューをして、自分の考えと比べながら聞こう ⑦ 主張と事例の関係をとらえ、自分の考えを伝え合おう ⑧ 表現を工夫して短歌を作り、読み合おう ⑨ 構成を考えて、提案する文章を書こう ⑩ 本は友達 ⑪ 詩を味わおう ⑫ 対話の練習 ⑬ 生活の中で読もう ⑭ 書くときに使おう ⑮ 作品の世界を想像しながら読み、考えたことを伝え合おう 	<ol style="list-style-type: none"> ① 話し手の1文の内容を捉えながら聞く。話がつながるように、次の1文を考える。 ② 倒置や反復などの表現に気付く。聞く人の印象に残るように、読み方を工夫して音読する。 ③ 比喩などの表現の工夫を使う。好きな食べ物のおいしさを伝える文章を書く。 ④ 視点の違いから登場人物の捉え方、心情や関係性を考える。文章を読んだ感想を伝え合う。 ⑤ 公共図書館の特徴を知る。どんなときに利用したいか考える。 ⑥ インタビューをする。インタビューを通して、考えたことをまとめ、グループで伝え合う。 ⑦ 文章の構成をとらえる。筆者の主張と事例の関係に着目しながら読む。筆者の主張に対する自分の考えをまとめる。グループで伝え合う。 ⑧ 短歌にしたい場面を考える。短歌を作る。表現を工夫する。短歌を読み合い、感想を伝え合う。 ⑨ グループでテーマを決める。情報を集め、提案内容を考える。提案する文章の構成を考える。提案する文章を書き、読み合う。 ⑩ 印象深い本について、本がもつテーマを話し合う。ブックトークで紹介する複数の本を探して読む。感想を交流する。本の魅力や自分と本との関わりについて話し合う。 ⑪ 表現の工夫に着目して、詩の内容をとらえる。題名や詩全体に込められた思いについて、自分の考えをまとめる。 ⑫ 話題に沿って対話を重ねる。考えを伝え合う。 ⑬ ニュースサイトのトップページの特徴を考える。ニュースサイトと新聞を読み比べる。ニュースサイトの特徴や読み方を考える。文章や図表を結び付けながら読む。 ⑭ 文章全体の構成や書き表し方などに着目する。2つの文章を読み比べる。推敲のポイントやその意義に気付く。 ⑮ 本文中で描かれている風景を簡単な絵や図に表す。宮沢賢治の生き方や考え方について話し合う。情景を想像する。題名について考える。筆者が込めた思いについて考え、文章にまとめる。
2学期	<ol style="list-style-type: none"> ⑯ 目的や条件に応じて話し合おう ⑰ 筆者の工夫をとらえて読み、それを生かして書こう ⑱ 物語を読んで考えたことを、伝え合おう ⑲ 相手や目的を明確にして、すいせんする文章を書こう ⑳ 詩の楽しみ方を見つけよう ㉑ 書くときに使おう ㉒ 筆者の考えを読み取り、テーマについて考えを述べ合おう ㉓ 言葉について考えよう ㉔ 書き表し方を工夫して、経験と考えを伝えよう ㉕ 資料を使って、みりよくなスピーチをしよう ㉖ 登場人物の生き方について、考えたことを話し合おう ㉗ 卒業するみなさんへ 	<ol style="list-style-type: none"> ⑯ 議題を確かめ、目的と条件を明確にする。自分の考えを整理する。進行計画を立て、話し合いで気を付けることを考える。話し合う。改善点を考え、再び話し合う。話し合ったことを共有する。 ⑰ 絵と文章を照らし合わせながら読む。筆者の評価をとらえる。筆者の工夫の中で、特に効果的だと思った点を理由とともにまとめる。グループで報告し合う。学校図書館などで、日本文化について書かれた本を読み、友達と感想を伝え合う。題材を決めて、情報を集める。文章の構成や表現の工夫をする。 ⑱ 物語の設定を確かめる。物語全体を通して、どのように変化してきたのかを考える。物語を読んで考えたことを、自分の生活や読書経験などと結び付けてまとめる。 ⑲ グループで推薦したいものを決める。パンフレットの構成を考える。推薦する文章の構成を考える。推薦する文章を書く。 ㉑ 教科書の3つの詩を読む。詩から感じたことを朗読で表現する。自分が選んだ詩の全体像を想像する。 ㉑ 名言だと思える言葉を集める。図を用いて整理する。紹介したい言葉を選ぶ。その言葉の意味や紹介したい理由をカードにまとめる。 ㉒ それぞれの文章で筆者が最も伝えたいことを考える。文章の特徴を明らかにする。3つの文章を読んで考えたことをまとめる。 ㉓ 他の言語との比較から、文の中での語句の係り方や語順などの日本語の特徴について理解する。日本語に特有の言葉や表現などに注目する。日本語の特徴を紹介する文章を書く。 ㉔ 大切にしたい言葉を選ぶ。関連する経験を書き出す。書く分量を確かめる。文章構成を考え、下書きをし、友達と読み合って推敲する。 ㉕ スピーチの話題と内容を決め、構成を考える。スピーチの練習をする。スピーチの会を開く。 ㉖ 物語の構成と内容を確かめる。登場人物の生き方や考え方にどのような影響を与えたのかを読み深める。「海の命」とは何かについて考える。それぞれの人物の生き方と、それに対する自分の考えをまとめる。 ㉗ 「生きる」を読み、表現の工夫を考える。感じたことを友達と話し合う。朗読をする。筆者の考えや挙げている事例を確かめる。筆者の考えに対する自分の考えをまとめる。

身に付けさせたい力

評価の観点	国語科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・思考に関わる語句の量を増し、語句と語句の関係について理解して文章の中で使うことができる。 ・原因や結果など情報と情報との関係について理解して読むことができる。 ・比喩や反復などの表現の工夫に気付きながら読むことができる。 ・文章構成や展開について理解して書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークテスト ・発言 ・ノート
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・事実と感想、意見を区別するなど、話の構成を考えて話そうとしている。 ・話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら聞こうとしている。 ・目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように工夫して書こうとしている。 ・全体像を想像したり、表現の効果を考えたりしながら読もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・発言 ・ノート
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、積極的に話し合っている。 ・目的や意図に応じて、すすんで必要な情報を集めている。 ・文章全体の構成や展開を考え、すすんで文章を書こうとしている。 ・すすんで読書に親しみ、分かったことや考えたことを話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・ワークシート

家庭へのおお願い

○毎日の漢字の宿題を確認してください。誤字脱字はその都度直していくことが定着につながります。「素早く丁寧に書く」が身に付くとよいと考えます。誰が読んでも読める字を書くことによって、相手に伝えることについての意識が高まります。また、自分で読み返した時に何を学習したのかを理解することができます。

○毎日の音読の宿題を確認してください。読み込むことで内容の理解につながります。内容を理解することにより、授業時の円滑な学習につながります。また、声に出して読むことにより人の前で何かを発表したり表現したりする経験にもなります。

○たくさん本を読み、たくさん文章を書き、自分の考えや思いを書くことができるようにしてください。自分の考えや思いを書くことを苦手と感じる児童は多いと思います。文章を書く経験を積むことにより、自分に合った書き方を見付けることができます。また、いろいろな表現や構成を読書で学ぶことができ、文章を書くことにもつながります。

第6学年 社会科学学習計画（シラバス）

【第6学年 社会科の目標】

- (1) 我が国の政治の考え方や仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしようとしている。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切にしていって国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚をしている。

1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① わたしたちのくらしと日本国憲法	① 日本国憲法の基本的な考え方に着目して、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、まとめることで我が国の民主政治を捉え、日本国憲法が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。
	② 国の政治のしくみと選挙	② 日本国憲法の基本的な考え方に着目して、国会、内閣、裁判所との関わりを考え、表現することを通して、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解するとともに、主体的に問題を追求・解決しようとする態度や、学習したことを基に国民としての政治への関わり方について多角的に考えようとする態度を養う。
	③ 子育て支援の願いを実現する政治	③ 我が国の政治の働きについて、政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、見学・調査したり各種で調べたりして、まとめることで国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現することを通して、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解するとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。
	④ 縄文のむらから古墳のくにへ	④ 狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子を手掛かりに、むらからくにへと変化したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。
	⑤ 天皇中心の国づくり	⑤ 大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を手掛かりに、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。
	⑥ 貴族のくらし	⑥ 貴族の生活や文化を手掛かりに、日本風の文化が生まれたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追求・解決しようとする態度や、学習してきたことを基に我が国の伝統や文化と今の自分たちの生活との関わりを考えようとする態度を養う。
	⑦ 武士の世の中へ	⑦ 源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを手掛かりに、武士による政治が始まったことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。
	⑧ 今に伝わる室町文化	⑧ 京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を手掛かりに、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追求・解決しようとする態度や、学習してきたことを基に我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとする態度を養う。
	⑨ 戦国の世から天下統一へ	⑨ 戦国の世の統一に果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、表現することを通して、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を手掛かりに、戦国の世が統一されたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。
2学期	⑩ 江戸幕府と政治の安定	⑩ 江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分性を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。
	⑪ 町人の文化と新しい学問	⑪ 歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学を手掛かりに、町人の文化が栄え新しい学問が起こったことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追求・解決しようとする態度や学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとする態度を養う。
	⑫ 明治の国づくりを進めた人々	⑫ 黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。
	⑬ 世界に歩み出した日本	⑬ 日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを手掛かりに我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。
	⑭ 長く続いた戦争と人々のくらし	⑭ 日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などを手掛かりに我が国と中国との戦いが全面化したことや連合国との戦いによる敗戦、広島・長崎への原爆投下など大きな被害を受けたことなどを理解できるようにするとともに主体的に学習問題を追求・解決しようとする態度を養う。
	⑮ 新しい日本、平和な日本へ	⑮ 日本国憲法の制定やオリンピック・パラリンピックの開催などを手掛かりに、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解できるようにするとともに主体的に学習問題を追求・解決しようとする態度や、学習してきたことを基に過去の出来事と今日の自分たちの生活や社会との関連や、歴史から学んだことをどのように生かしていくかなど国家及び社会の発展を考えようとする態度を養う。
	⑯ 日本とつながりの深い国々	⑯ 我が国と経済や文化などの面でつながりの深い国の人々の生活は、多様であることや、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追求・解決しようとする態度や学習したことを基に世界の人々と共に生きていくために大切なことなどを多角的に考えようとする態度を養う。
	⑰ 世界の未来と日本の役割	⑰ 我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追求・解決しようとする態度や、学習したことを基に、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えようとする態度を養う。

身に付けさせたい力

評価の観点	社会科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていること、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていること、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることなどを理解できる。 ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産の働きなどを理解できる。 ・遺跡や文化財、地図帳や年表などの資料で調べ、まとめることができる。 ・日本と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活は、多様であることを理解するとともに、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解できる。 ・日本は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解できる。 ・地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・復習プリント ・調べ学習 ・ワークテスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の基本的な考え方に着目して、日本の民主政治を捉え、日本国憲法が国民生活に果たす役割や、国会、内閣、裁判所と国民との関わりを考え、表現している。 ・政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現している。 ・各時代の世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、歴史上の主な事象を捉え、日本の歴史の展開を考えると、歴史を学ぶ意味を考え、表現している。 ・外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考え、表現している。 ・地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・ノート ・ワークテスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の考え方に基づく国のあり方や政治の仕組みについて、主体的に問題解決しようとしていたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしていたりしている。 ・日本の歴史上の主な事象について、主体的に問題解決しようとしていたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしていたりしている。 ・日本とつながりの深い国の人々の生活やグローバル化する国際社会における日本の役割について、主体的に問題解決しようとしていたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしていたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発言 ・ノート ・ワークシート

家庭へのおお願い

○地域や家庭など、身の回りで起こっている大抵のことは「社会」に関連しています。ニュースや新聞で報道されていることに耳を傾け、世の中でどのようなことが起きているのか、ご家庭で話題にしてください。そして、気になったことがあったら、教科書や資料集などを使って調べるよう手掛けをしてください。

○日本地図や世界の地理を復習しておくことが必要になります。特に、都道府県は漢字で書けるように家庭学習を進めてください。

○初めて歴史学習を行います。特に気になる偉人について調べてみたり、家の近くを歩いて歴史に関する資料や建物を探してみたりしてください。

第6学年 算数科学習計画（シラバス）

【第6学年 算数科の目標】

- (1) 分数の計算や文字で表された式の意味、図形の体積や比例、度数分布を表す表を理解できる。図形の面積や角の大きさを求めたり、表やグラフに表したりすることができる。
- (2) 計算の仕方を考え、発展的に考え自ら問題を発見し、図形を構成する要素と性質について考えている。伴って変わる二つの量の関係を見付け、表や式、グラフを使って考えている。目的に応じてデータを集めて表やグラフに表し、解決方法を考えている。
- (3) 粘り強く考え、数を用いて考えることよさに気づき、生活に生かそうとしている。

1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① 釣り合いのとれた図形を調べよう ② 数量やその関係を式に表そう ③ 分数のかけ算を考えよう ④ 分数の割り算を考えよう ⑤ 割合の表し方を調べよう ⑥ 形が同じで大きさが違う図形を調べよう ⑦ データの特徴を調べて判断しよう ⑧ 円の面積の求め方を考えよう ⑨ 角柱と円柱の体積の求め方を考えよう	① 線対称な図形、点対称な図形の性質を考え理解する。それぞれの性質をもとに辺の長さ、角の大きさを考える。それぞれの性質をもとに作図をする。 ② 数量の関係を、文字 x 、 y を用いた式で表すことを理解する。未知数を x 、 y を用いて数量の関係を式に表す。 ③ 分数×整数、分数÷整数の計算をする。分数×分数の計算、整数×分数の計算をする。分数を用いた面積や体積を求める。 ④ 分数÷分数の計算。整数÷分数の計算。整数、小数、分数が混じった計算をする。 ⑤ 比と比の値の意味と表し方について考える。等しい比の性質について考える。比の性質に着目して考える。 ⑥ 合同な図形の意味をもとに拡大図、縮図の意味や性質を理解する。対応する辺、角など性質をもとに拡大図、縮図の描き方を考える。縮尺の意味や表し方を理解し、縮図を活用して考える。 ⑦ 代表値としての平均値の理解。ドットプロットに整理する方法、最頻値を理解する。度数分布表に整理する。柱状グラフに整理する。中央値を理解する。グラフを組み合わせたグラフの読み取りをする。 ⑧ 正多角形の面積の求め方に着目し円の面積の求め方を考える。円を含む複合図形の求め方を考える。 ⑨ 四角柱、三角柱、角柱、円柱の体積の求め方を考える。
2学期	⑩ およその面積と体積を求めよう ⑪ 比例の関係をくわしく調べよう ⑫ 順序よく整理して調べよう ⑬ 算数の学習のしあげをしよう	⑩ 身の回りのもののおよその面積、容積や体積の求め方を考える。 ⑪ 比例の関係を考える。比例の関係のときに成り立つきまりに着目し比例の式について考える。比例のグラフの特徴を考える。比例関係に着目し問題解決をする。反比例の関係を考える。反比例の式や関係について考える。反比例のグラフの特徴について考える。 ⑫ 順列について表や樹形図などを用いて調べる方法を理解する。組み合わせについて表や樹形図などを用いて調べる方法を理解する。 ⑬ 6年間の学習の復習をする。

身に付けさせたい力

評価の観点	算数科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・分数の計算や、文字で表された式の意味と表し方を理解することができる。 ・図形の意味と性質、体積、比例、度数分布を表す表について理解することができる。 ・分数の計算をし、図形の面積や体積を求めることができる。 ・表やグラフに表す技能を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・ワークテスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・数の表し方や計算の意味を理解し、発展的に考え自ら問題を発見している。 ・図形の構成要素と位置関係に注目し、図形の性質や大きさについて考えている。 ・伴って変わる数量の関係を、表や式、グラフで表して変化の法則を考えている。 ・目的に応じてデータを集め、表やグラフに表している。それをもとに問題解決をしたり、さらによくなる方法を求め批判的な見方をしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発言 ・ノート ・テスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数で表されたものを多面的に捉えようとしている。 ・粘り強く考えようとしている。 ・算数で学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察

家庭へのおお願い

○毎日の計算ドリルの宿題を確認してください。間違いをその場で把握し直すことにより理解につながります。また、分からない問題を教科書など活用しながら取り組むことにより定着につながります。繰り返し学習することによって既習事項の定着につながります。

○定規や分度器、コンパスなど算数科で活用する学習用具の適切な使い方をよく理解するように練習してください。繰り返し使うことにより、それぞれの用具の自分に合った使い方を見付けることができます。

○学習内容を活用する機会を作ってください。身の回りには算数で学習した内容を生かすことができる機会がたくさんあります。それらを示し、既習事項を活用しながら考える楽しさや喜びを感じさせ、習慣を付けていくと定着につながります。

第6学年 理科学習計画（シラバス）

【第6学年 理科の目標】

- (1) 自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性及び電気の性質や動き、生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- (2) 自然の事物・現象から見いだした問題について追究し、より妥当な考えをつくり出すといった問題解決をしている。
- (3) 問題解決の力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとしている。

1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① 物の燃え方と空気 ② 動物のからだのはたらき ③ 植物のからだのはたらき ④ 生き物どうしのかかわり ⑤ 月の形と太陽	① 植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解する。 ② 体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解する。食べ物、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出されることを理解する。血液は、心臓の動きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいることを理解する。体内には、生命活動を維持するための様々な臓器があることを理解する。 ③ 植物の葉に日光が当たるとデンプンができることを理解する。根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解する。 ④ 生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解する。生物の間には、「食う、食われる」という関係があることを理解する。 ⑤ 月の輝いている側に太陽があることを理解する。また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わることを理解する。
2学期	⑥ 大地のつくり ⑦ 変わり続ける大地 ⑧ てこのはたらき ⑨ 電気と私たちの暮らし ⑩ 水溶液の性質 ⑪ 地球に生きる	⑥ 土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあることを理解する。また、層には化石が含まれているものがあることを理解する。地層は、流れる水の動きや火山の噴火によって変化することを理解する。 ⑦ 土地は、火山の噴火や地震によって変化することを理解する。 ⑧ 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける動きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを理解する。身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解する。 ⑨ 電気は、作り出したり蓄えたりすることを理解することができることを理解する。電気は、光、音、熱、運動などに変換することができることを理解する。身の回りには、電気の性質や動きを利用した道具があることを理解する。 ⑩ 水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあること、気体が溶けているものがあること、金属を変化させるものがあることを理解する。 ⑪ 生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解する。生物の間には、「食う、食われる」という関係があることを理解する。人は、環境と関わり、工夫して生活していることを理解する。

身に付けさせたい力

評価の観点	理科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験を通して、様々な事象について理解することができる。 実験や観察の仕方を知り、正しく行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークテスト ノート 授業観察 ワークシート
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 予想や仮説を基に、解決方法を考えている。 観察や実験の条件に気付き、「変える条件」と「変えない条件」を明確にして、実験計画を立てている。 実験結果を考察し、結論を導き出している。 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 自然や科学的な事象について興味をもち、すすんで観察や実験を行っている。 結論からさらに発展的に物事を考えたり、さらに問題意識をもったりするなど、主体的に学習に取り組んでいる。 	

家庭へのお願い

○理科は、身近な自然や生活経験から疑問をもち、どうなるのか予想しながら観察や実験をすることが大切です。ふだんの生活から、「何でだろう。」「不思議だな。」と感じたことを一緒に考えてください。

第6学年 音楽科学習計画（シラバス）

【第6学年 音楽科の目標】

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付ける。
- (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。
- (3) 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする。

1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① 歌声をひびかせて心をつなげよう ② いろいろな音色を感じ取ろう ③ 旋律の特徴を生かして表現しよう ④ いろいろな和音のひびきを感じ取ろう	① 明るく響きのある声で歌う。 歌詞の表す情景を思い浮かべながら、曲想にふさわしい歌声で歌う。 ② オーケストラの響きを味わいながら聴く。 パートの役割や楽器の音色の特徴を生かして合奏する。 ③ 歌詞と曲想との関わりに気を付けて歌う。 旋律のまとまりに気を付けながら演奏する。 ④ 歌声が重なり合う響きを感じ取りながら、合唱や合奏する。 和音に含まれる音を使って旋律をつくる。
2学期	⑤ 曲想の変化を感じ取ろう ⑥ 詩と音楽の関わりを味わおう ⑦ 日本や世界の音楽に親しもう ⑧ 音楽で思いを伝えよう	⑤ 曲想の変化を味わいながら、思いを込めて歌ったり、曲想の移り変わりを味わいながら聴いたりする。 ⑥ 言葉と旋律の美しさを感じ取りながら、日本の歌を味わう。 人々が大切にしてきた歌を味わい、思いが伝わるように歌う。 ⑦ 日本に古くから伝わる音楽に親しむ。 世界のいろいろな国の音楽に親しむ。 ⑧ 曲想を生かして表情豊かに歌う。 感謝の気持ちを込めて演奏する。

身に付けさせたい力

評価の観点	音楽科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 音色、速度、旋律や歌詞の内容などと曲想との関わりを理解して、それらを生かした歌い方や、自然で無理のない響きのある歌い方ができる。 旋律、リズム、フレーズや歌詞の内容などと曲想との関わりを理解して、音色や響きに気を付けて互いの音を聴いて演奏することができる。 旋律、音の重なりや和音の響きなどと曲想との関わりを理解して、和音に含まれる音を使って旋律をつくることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発言 行動観察 ワークシート 演奏聴取
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 言葉や旋律のまとまり、発音や声の出し方などを工夫し、曲想にふさわしい歌い方について考えている。 旋律、リズム、などと曲想との関わりを生かして表現を工夫し、どのように表現するかについて考えている。 短調と長調の響きや旋律の重なり方の違いなどと曲想との関わりについて考え、それらにふさわしい表現の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 発言 行動観察 ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 歌声に気を付けながら曲想にふさわしい表現を工夫する学習に主体的に取り組み、友達と協働して音楽活動をする楽しさを味わっている。 友達と協働して、旋律の特徴やまとまりを生かした表現を工夫する学習の楽しさを味わいながら、互いの声や音を聴き合って表現する学習に主体的に取り組んでいる。 和音の響きの違いや移り変わりを生かして表現したり、つくった旋律を発表し合って気付いたことなどを伝えあったりする学習に、主体的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発言 行動観察 ワークシート

家庭へのおお願い

○鍵盤ハーモニカやリコーダーを吹いた際の水滴を拭くために、タオルを袋に入れて持参させてください。使用した後は、適宜持ち帰りますので、洗濯して清潔な物を持たせてください。

○状況に応じて、学習した鍵盤ハーモニカやリコーダーの曲を家庭で練習してください。その際は、お子さんの演奏を聴いていただけると励みになると思いますので、ご協力をお願いします。

○日常生活において、流れている音楽にお子さんと一緒に関心を広げてみてください。

第6学年 図画工作科学習計画（シラバス）

【第6学年 図画工作科の目標】

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができる。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができる。
- (3) 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

1年間の学習内容

学期	学習する題材名	主な学習内容
1学期	① アートカードを使って ② 墨と水から広がる世界 ③ 開いてみたら ④ 光の形 ⑤ 音のする絵	① アートカードを使い、絵画作品をよく見て、絵の中から見付けたことや感じたこと、想像したことなどを友達と話し合うことで、自分や友達の見方や考え方、発想のおもしろさを感じる。 ② 墨と水を使ってできることを試しながら表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。 ③ モダンテクニックでできた偶然の模様から発想を膨らませ、思い付いたことをかき加えて絵に表す。 ④ メラミンスポンジに光を当てたり形を変えたりしながら表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。 ⑤ 身近な音を感じながら形や色を思い浮かべ、造形的な特徴を捉えながら自分の思いに合う表し方を工夫して絵に表す。
2学期	⑥ 季節を感じて（全校写生会） ⑦ すてきな明かり ⑧ 1枚の板から ⑨ 版で広がるわたしの思い ⑩ わたしの大切な風景	⑥ 自然の景色から一人一人が感じたことを大切に、自分が見付けた対象の形や色の特徴を思いのままに表現する。 ⑦ 光の美しさを感じながら、これまでの材料や用具の経験を生かしてランプシェードをつくる。 ⑧ 木材を扱った経験を生かして、1枚の板から使う目的や用途を考え、生活を豊かにするものをつくる。また、用途から生活や楽しくなるものを発想したり、組み立て方や構造を確かめ計画を考えたりしてつくる。 ⑨ これまでに学んだ版に表す技法などを総合的に生かしながら、自分の表したいことに合わせて表現方法を組み合わせるなどして工夫して表す。 ⑩ 自分にとってなじみのある身近な場所から気に入った場所を選び、改めてよく観察し、その場所への思いを表すため、自分の感じたことを大切に表し方を工夫して絵に表す。

身に付けさせたい力

評価の観点	図画工作科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解している。 ・表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発言 ・ワークシートや作品評価
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発言 ・ワークシートや作品評価
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に表現したり鑑賞したり活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり、楽しく豊かな生活を創造しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発言 ・ワークシートや作品評価

家庭へのお願い

○必要な材料を準備するときには、ぜひお子さんと一緒に楽しみながら探してください。子供にとって大人と一緒に材料探しは楽しいだけでなく勉強になります。また、自分で探すことで、この材料でこんな物を作りたいと発想を広げることができます。

○持ち帰った作品については、人と比べることはせず、どのような想いで作ったのかを聞いてみてください。また、自分で作った作品を丁寧に扱ってもらえないのは悲しいものですので、作品は大切に扱ってください。

○道具を最後まで大切に使うことや安全に気を付けて使うことを、ご家庭でも伝えてください。

第6学年 家庭科学習計画（シラバス）

【第6学年 家庭科の目標】

- (1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- (2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決しようとする。
- (3) 家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫している。

1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① 生活時間をマネジメント ② できることを増やしてクッキング ③ クリーン作戦で快適に ④ 衣服の手入れで快適に ⑤ すずしい住まい方で快適に	① 自分がどのように時間を使っているかを振り返る。課題を見つけて、有効な時間の使い方を考える。時間の使い方を工夫して生活する。 ② 「炒める調理」の特徴を知る。野菜を美味しく炒めるための調理計画を考え、工夫する。炒める調理に必要な用具の安全な取り扱い、味の付け方、盛り付け、後片付けを行う。食事の役割を理解し、朝食を食べることの大切さについて理解することができる。 ③ 住まいの清掃の必要性に気づき、清掃の仕方について問題を見いだして、課題を設定する。汚れやごみの種類、その場所に合った清掃の仕方・用具を考えて計画を立て、工夫して掃除をする。学校内の清掃の仕方についての課題解決に向けた一連の活動を振り返って評価・改善する。 ④ 日常着の手入れが必要であることを理解する。洗濯の仕方を理解し、洗濯が適切にできる。日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 ⑤ 暑い季節を快適に過ごすために、工夫していることに気付く。暑い季節の住まい方について課題を見だし、快適に過ごすための工夫を考える。自分の生活に合わせて生活快適プランを考え、快適な住まい方を実践する。
2学期	⑥ ソーイングで生活を豊かに ⑦ こんだてを工夫して ⑧ 共に生きる地域での生活 ⑨ 持続可能な社会のために	⑥ 身近な布の袋について関心を持ち、使う目的に応じた工夫を見付ける。自分の作りたい袋の材料や手順が分かり、製作計画を立てることができる。用具の安全な取り扱いを理解し、布を裁断し、正しく印を付ける。製作計画をもとに、縫い方や手順を考え、工夫して製作する。 ⑦ 献立を構成する要素が分かり、1食分の献立作成の方法について理解する。1食分の献立の栄養バランスについて考え、工夫する。栄養を考えた食事について、課題の解決に向けて取り組む。家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事やおいしく食べるための調理の仕方について工夫し、実践する。 ⑧ 地域の人々とのよりよい関わりについて、問題を見いだして課題を設定したり、課題の解決に向けて「地域かわりプロジェクト」の計画を立て、実践したりする。 ⑨ 自分の生活と身近な環境が相互に関係していることに気付く。人や環境に配慮した、資源としてのものの扱い方を理解し、日頃の生活においても自分ができそうな工夫を考える。持続可能な社会構築の視点から、今後自分も家庭生活の中で取り組む内容や生活の工夫について考える。

身に付けさせたい力

評価の観点	家庭科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 調理に必要な用具の安全な取扱いや、調理に適した切り方、味の付け方、盛り付け、後片付けについて理解しているとともに適切にできる。 材料に適した切り方や炒め方について理解しているとともに適切にできる。 食事の役割が分かり、日常の食事の大切さについて理解している。 住まいの清掃の仕方を理解しているとともに、適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート 発言 活動 実習
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 清掃の仕方について、様々な解決方法を考え、実践に向けた計画を立て、工夫している。 日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 暑い季節の住まい方について問題を見いだして、課題を設定している。 快適な住まい方について考え、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート 発言 活動 実習
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 生活時間の課題解決に向けて意欲的に取り組んだり、時間の使い方を工夫して生活しようとしていたりしている。 清掃の仕方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 家族の一員として、生活をよりよくしようと清掃の仕方について工夫し、実践しようとしている。 生活をよりよくしようと、日常着の手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート 発言 活動 実習

家庭へのおお願い

- 「自分のことは自分でやる」が実践できるよう、ご家庭でも取り組むようにしてください。使ったものを片付ける、食べたものを片付ける、必要なものを用意するなど子供自身がやることで自立につながります。
- 家庭の仕事をたくさん取り組ませてください。家族の一員として家族のためにできることを考え実践することは、子供の将来につながります。生活を豊かにするためにも、多くの仕事を体験させ、多くのことを感じさせてください。
- 生活経験を豊かにさせてください。いろいろなことを体験することで多くを考え、それが自信や成長につながります。

第6学年 保健体育科学習計画（シラバス）

【第6学年 保健体育科の目標】

- (1) 運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方や病気の予防について理解するとともに、運動の特性に応じた技能や、健康で安全な生活を営むための技能を身に付ける。
- (2) 「自分やグループの運動の課題」や「身近な健康に関わる課題」を見つけ、解決のための方法や活動を工夫するとともに、自分や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。
- (3) ①約束を守り、助け合って積極的に運動している。②仲間の考えや取り組みを認めている。③場や安全に気を付けて運動している。④自分の最善を尽くして運動している。⑤健康・安全の大切さに気づき自分の健康の保持増進や回復にすすんで取り組んでいる。以上5点の態度を養うことができる。

1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① 体づくり運動 ・体ほぐしの運動 ② 陸上運動 ・短距離走・リレー・投の運動 ③ ボール運動 ・ベースボール型 ④ 器械運動 ・鉄棒運動 ⑤ 水泳運動 ・クロール・平泳ぎ ・安全確保につながる運動 ⑥ 表現運動 ・表現 ⑦ 体づくり運動 ・体の動きを高める運動 ⑧ 保健 ・病気の予防	① 体ほぐしの運動では、その行い方を理解するとともに、手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や仲間の心と体の状態に気付いたり、仲間と豊かに関わり合ったりする。 ② 短距離走・リレーでは、走る距離やバトンの受渡しなどのルールを決めて競走したり、自己（チーム）の記録の伸びや目標とする記録の達成を目指したりしながら、一定の距離を全力で走る。 投の運動では遠くまで力強く投げる。 ③ ベースボール型では、ボールを打つ攻撃と隊形をとった守備によって、簡易化されたゲームをする。 ④ 鉄棒運動では、支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりする。基本的な技とは、前方支持回転、片足踏み越し下り、膝掛け上がり、前方もも掛け回転、逆上がり、後方支持回転、後方もも掛け回転、両膝掛け振動下りである。 ⑤ クロールでは、左右の手を入れ替える動きに呼吸を合わせて、続けて長く泳ぐ。 平泳ぎでは、その行い方を理解するとともに、手の動きに合わせて呼吸し、キックの後には息を止めてしばらく伸びて、続けて長く泳ぐ。 安全確保につながる運動では、その行い方を理解するとともに、背浮きや浮き沈みをしながら、タイミングよく呼吸をしたり、手や足を動かしたりして、続けて長く浮く。 ⑥ 表現では、いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりする。 ⑦ 体の動きを高める運動では、体力の必要性や体の動きを高めるための運動の行い方を理解するとともに、自己の課題を踏まえ、直接的に体力の向上をねらいとして、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行う。 ⑧ 病気の予防については、病気の発生要因や予防の方法について理解する。また、喫煙、飲酒、薬物乱用が健康に与える影響について理解する。
2学期	⑨ 表現運動 ・フォークダンス（民謡を含む） ⑩ 陸上運動 ・ハードル走 ⑪ ボール運動 ・ネット型 ⑫ 陸上運動 ・走り高跳び ⑬ 器械運動 ・マット運動 ⑭ 体づくり運動 ・体の動きを高める運動 ⑮ 器械運動 ・跳び箱運動 ⑯ ボール運動 ・ゴール型	⑨ フォークダンスでは、日本の民謡や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊る。 ⑩ ハードル走では、インターバルの距離やハードルの台数などのルールを決めて競走したり、自己の記録の伸びや目標とする記録の達成を目指したりしながら、ハードルをリズムカルに走り越える。 ⑪ ネット型では、個人やチームによる攻撃と守備によって、簡易化されたゲームをする。 ⑫ 走り高跳びでは、その行い方を理解するとともに、試技の回数やバーの高さの決め方などのルールを決めて競争したり、自己の記録の伸びや目標とする記録の達成を目指したりしながら、リズムカルな助走から力強く踏み切って跳ぶ。 ⑬ マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりする。基本的な技とは、開脚前転、補助倒立前転、伸膝後転、倒立ブリッジ、ロングアート、頭はね起き、補助倒立である。 ⑭ 体の動きを高める運動では、体力の必要性や体の動きを高めるための運動の行い方を理解するとともに、自己の課題を踏まえ、直接的に体力の向上をねらいとして、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行う。 ⑮ 跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりする。基本的な技とは、かかえ込み跳び、伸膝台上前転、頭はね跳びである。 ⑯ ゴール型では、ボール操作とボールを持たないときの動きによって、簡易化されたゲームをする。

身に付けさせたい力

評価の観点	体育科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 運動の行い方を知っており、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けることができる。 病気の予防やけがの防止について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察 学習カード 学習プリントや単元のテスト（保健領域）
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 自分やグループの運動の課題を見つけようとしている。 課題解決のために活動を工夫している。 自分や仲間が考えたことを他の人へ伝えている。 心の健康やけがの防止についての課題を見つけ、その解決方法を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カード 観察 仲間への声掛け
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 約束を守り助け合って積極的に運動している。 仲間の考えや取り組みを認めている。 場や安全に気を付けて運動している。 自分の最善を尽くして運動している。 健康・安全の大切さに気づき自分の健康の保持増進や回復にすすんで取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察 発言

家庭へのおお願い

- 毎日、体の柔軟のためのストレッチを行うようにしてください。
- 1日30分以上は、体を動かす時間をつくってあげてください。
- なわとびや鉄棒は、年間を通してご家庭でも取り組んでください。

第6学年 外国語科学習計画（シラバス）

〔第6学年 外国語科の目標〕

- (1) ゆっくりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができる。
- (2) 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。
- (3) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。
- (4) 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。
- (5) 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。

1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① This is me! ② My Dairy Schedule ③ My Weekend ④ Check Your Steps 1 発信！わたしのニュースあれこれ ⑤ Let's see the world.	① お互いのことをよく知るために、好きなものや宝物などについて、聞き取ったり紹介したいことができる。また、好きな物や宝物などについて、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。 ② お互いの生活をよく知るために、日常生活について、聞き取ったり紹介したりすることができる。また、週末の過ごし方について、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。 ③ お互いの生活をよく知るために、週末にしたことについて、聞き取ったり伝えたりすることができる。また、週末にしたことについて、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。 ④ 自分のことを伝えるために、日常生活や最近の出来事について、内容を整理したうえで考えや気持ちなどを発表することができる。 ⑤ 行きたい国の魅力を伝えるために、行きたい国とそこでできることについて、聞き取ったり伝えたりすることができる。また、行きたい国とそこでできることについて、例文読んだり、それを参考に書いたりすることができる。
2学期	⑥ Where is it from? ⑦ Save the animals. ⑧ Check Your Steps 2 始めよう!地球のためにできること ⑨ My Best Memory ⑩ My Future, My Dream ⑪ Check Your Steps 3 卒業！今伝えたい、わたしの思い	⑥ 自分たちと世界のつながりを知るために、身の回りのものの生産国について、聞き取ったり紹介したりすることができる。また、身の回りのものや生産国について、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。 ⑦ 生き物への理解を深めるために、生き物が暮らす場所や直面する問題、生き物のためにできることについて、聞き取ったり伝えたりすることができる。また、それらについて、例文を読んだり、例文を参考に書いたりすることができる。 ⑧ 地球に対する自分の考えを伝えるために、生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについて、内容を整理したうえで考えや気持ちなどを発表することができる。 ⑨ お互いのことをよく知るために、小学校生活の一番の思い出について聞き取ったり紹介したりすることができる。また、小学校生活の一番の思い出について、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。 ⑩ お互いの夢を応援するために、将来したいことについて、聞き取ったり伝えたりすることができる。また、中学校で入りたい部活動や将来の夢などについて、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。 ⑪ 卒業にあたっての自分の思いを伝えるために、小学校生活の思い出や将来の夢について、内容を整理したうえで考えや気持ちなどを発表することができる。

身に付けさせたい力

評価の観点	外国語科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の国や人々のつながりの中に生きる自分たちに関する簡単な語句や基本的な表現についての知識を理解できる。 ・世界の国や人々のつながりの中に生きる自分たちについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、コミュニケーションを行う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・観察 ・発表や対話テストのやりとり ・ペーパーテスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場面、状況などに応じて世界の国や人々とのつながりの中に生きる自分たちなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、コミュニケーションをとっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発表や対話テストのやりとり
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・他者に配慮しながら、世界の国や人々のつながりの中に生きる自分たちについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、主体的にコミュニケーションを行おうとしている。外国語の背景にある文化に対応する理解を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・振り返りカード

家庭へのおお願い

○英語に触れる機会を作ってください。
 例…音楽、TVなどで構いません。

○家庭学習などを通して、生活の中で見つけた英語をノートに書き写したり、調べたりする活動をしてください。

第6学年 総合的な学習の時間 学習計画（シラバス）

〔第6学年 総合的な学習の時間科の目標〕

- 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。
- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できる。
 - (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめたり表現したりしている。
 - (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとしている。

1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① ロボットを動かそう ② お年寄りと交流しよう ③ 日光について調べよう ④ SDGsについて調べよう	① ロボットの操作方法、指示の出し方を知り、ロボットを動かす。課題に沿ってロボットに指示を出し、課題を解決する。求めている結果にならなかった時に、なぜそのような結果になったのか考え、解決策を模索し、試行錯誤を繰り返しながら解決に導く。 ② 身の回りの課題を考え、情報を集める。集めた情報を基に、自分ができていることを考え計画を立てる。実践したことにより得られる効果を考え、まとめる。 ③ 日光について情報を集める。宿泊学習での活動予定を基に情報を集め、よりよい活動にするためにはどうするとよいのか考える。事前学習と宿泊学習を経験して感じたこと、気付いたことなどをまとめる。 ④ 前学年での学習を振り返る。それぞれの項目ごとにある課題や問題を調べ、情報を集める。課題を解決するために自分たちができていることを考え、計画を立てる。計画に沿って実践したことにより得られる効果を考えまとめる。
2学期	⑤ 科学・数学的な課題に対して調べてまとめよう ⑥ 職業について知ろう ⑦ ドローンを飛ばそう ⑧ 伝統を引き継ぎ、卒業しよう	⑤ 理科や算数に関する課題を自ら設定し解決する。調査や実験・実証を繰り返しながら、研究発表に向けた準備をする。研究発表は、学習用パソコンのプレゼンテーションツールを活用する。 ⑥ 身の回りにある職業を考える。全国や全世界にはどのような職業があるのか調べる。自分の好きなものや好きなことなどから繋がりのある職業を考え、それぞれの情報を集めて、まとめる。 ⑦ ドローンの操作方法、指示の出し方を知り、ドローンを動かす。課題に沿ってドローンに指示を出し、課題を解決する。求めている結果にならなかった時に、なぜそのような結果になったのか考え、解決策を模索し、試行錯誤を繰り返しながら解決に導く。 ⑧ 卒業に向けて、最高学年として取り組んだことや思いを後輩に引き継ぐ。

身に付けさせたい力

評価の観点	総合的な学習の時間で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等の思いや願い、暮らしを支援する仕組みを理解することができる。 ・日常的に気持ちのよい挨拶をしたり、分かりやすい話し方をしたりして、高齢者等に適切に関わることができる。 ・高齢者等への接し方など自分の意識や行動の変容は、高齢者等とその暮らしについて探究的に学んだことによる成果であると気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・発言 ・活動 ・学習支援ソフト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちを取り巻く地域社会に広く目を向けて課題を見出し、解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てようとしている。 ・多様な方法で自分の目的や意図に即した情報を収集し、種類に合わせて紙面やICTで蓄積している。 ・適切な思考ツール等を選んで情報を整理し、情報と情報がどのような関係にあるか、見いだしている。 ・他教科で培った表現力を活用したり、学習の仕方を振り返り、他の学習や生活に生かしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・発言 ・活動 ・学習支援ソフト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と身近な実生活・実社会の問題解決に他者と協働してすすんで取り組んでいる。 ・探究活動を通して、自分自身を理解し、他者の考え等を受け入れ、尊重しながら学び合っている。 ・地域との関わりの中で、地域にとって必要なことと自分にできることを検討し、実践に移している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・発言 ・活動 ・学習支援ソフト

家庭へのおお願い

○情報モラルについてご家庭でよく話をしておいてください。便利な世の中で、多くの情報をすぐに得ることができますが、便利な反面、危険も伴います。ネットトラブルに巻き込まれないようにご指導ください。

○信頼できる情報とできない情報の区別ができるようにさせてください。フェイクニュースや嘘の情報もネット上には溢れています。情報を集めるときに正しい情報を選択できるようにする習慣が身に付いていると、学習にもつながります。

○学習端末のルールを守らせてください。学習端末を適切に学習に生かせるように、学校から出ているルールを守りながら活用させてください。

第6学年 道徳科学習計画（シラバス）

〔第6学年 道徳科の目標〕

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① 心を形に ② お母さん、お願いね ③ 心に通じた「どうぞ」のひとつこと ④ 天災は、わすれていなくてもやってくる ⑤ 世界遺産 白神山地 ⑥ エンザロ村のかまど ⑦ 「法律」ってなんだろう ⑧ ばかじゃん！ ⑨ ある犬のおはなし ⑩ 雨上がりの日のこと ⑪ あなたはどう考える？ ⑫ 土石流の中で救われた命 ⑬ たった一つの命だから ⑭ タマソン川 ⑮ 心をつなぐ音色～ピアニスト辻井伸行 ⑯ ともにくらすわたしたち ⑰ 修学旅行の夜 ⑱ うちら「ネコの手」ボランティア	① 礼儀について考える。 ② 節度・節制について考える。 ③ 親切・思いやりについて考える。 ④ 節度・節制について考える。 ⑤ 伝統と文化の尊重・国や郷土を愛する態度について考える。 ⑥ 国際理解・国際親善について考える。 ⑦ 規則の尊重について考える。 ⑧ 友情・信頼について考える。 ⑨ 生命の尊さについて考える。 ⑩ 個性の伸長について考える。 ⑪ 公正・公平・社会主義について考える。 ⑫ 感謝について考える。 ⑬ 生命の尊さについて考える。 ⑭ 自然愛護について考える。 ⑮ 希望と勇気・努力と強い意志について考える。 ⑯ 国際理解、国際親善について考える。 ⑰ 善悪の判断・自立・自由と責任について考える。 ⑱ 勤労・公共の精神について考える。
2学期	⑲ みんないっしょだよ～黒柳徹子 ⑳ 愛華さんからのメッセージ ㉑ ぼくの名前呼んで ㉒ せんばいの心を受けついて ㉓ ピアノの音が・・・ ㉔ 手品師 ㉕ 夜空～光の旅 ㉖ 新しい日本に～龍馬の心 ㉗ 言葉のおくりもの ㉘ 銀のしょく台 ㉙ まんがに命を～手塚治虫 日本のテレビアニメの生みの親 ㉚ 青の洞門 ㉛ さばくを緑の農地に～中村哲医師 ㉜ 「あきらめない」を手助けしたい～義肢装具士 臼井二美男 ㉝ 東京大空襲の中で ㉞ 小さな連絡船「ひまわり」 ㉟ 夢	⑲ 親切・思いやりについて考える。 ⑳ 自然愛護について考える。 ㉑ 家族愛、家庭生活の充実について考える。 ㉒ よりよい学校生活・集団生活の充実について考える。 ㉓ 規則の尊重について考える。 ㉔ 正直、誠実について考える。 ㉕ 感動・畏敬の念について考える。 ㉖ 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度について考える。 ㉗ 友情、信頼について考える。 ㉘ 相互理解、寛容について考える。 ㉙ 真理の探究について考える。 ㉚ 感動・畏敬の念について考える。 ㉛ よりよく生きる喜びについて考える。 ㉜ 勤労、公共の精神について考える。 ㉝ 生命の尊さについて考える。 ㉞ よりよい学校生活・集団生活の充実について考える。 ㉟ 希望と勇気・努力と強い意志について考える。

身に付けさせたい力

道徳科を要とすることで道徳教育を通して期待される具体的な姿

- ・生活を振り返り、節度を守ることができる。
- ・友達と互いに信頼し、協力し合って助け合うことができる。
- ・自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たすことができる。
- ・生命はかけがえないものであることを知り、協力し助け合おうとしている。
- ・誰に対しても差別することや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接しようとしている。
- ・自らを振り返って成長を実感している。
- ・これからの課題や目標を見付けようとしている。

家庭へのお願い

○悪口、陰口は相手を傷付けるだけでなく、自分がいる集団、空間、環境にも影響を及ぼします。よい環境をつくるためには、悪口、陰口をなくす必要があります。大人がまずはよい見本となってください。

○多くのことを経験し、多くのことを見て、多くのことを考え、多くのことを学ばせてください。たくさんの経験が子供を大きく成長させます。「心」は「頭」にあります。たくさん考えることが心の成長に繋がります。